

横浜市感染症発生動向調査報告(令和3年3月)

《今月のトピックス》

- 新型コロナウイルス感染症の報告が続いています。
- 定点把握対象疾患の多くが、例年より低めの報告数で推移しています。

◇ 全数把握の対象

〈3月期に報告された全数把握疾患〉

腸管出血性大腸菌感染症	1件	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	2件
E型肝炎	1件	梅毒	17件
A型肝炎	1件	播種性クリプトコックス症	1件
レジオネラ症	3件	風しん	1件
カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	4件	-	-

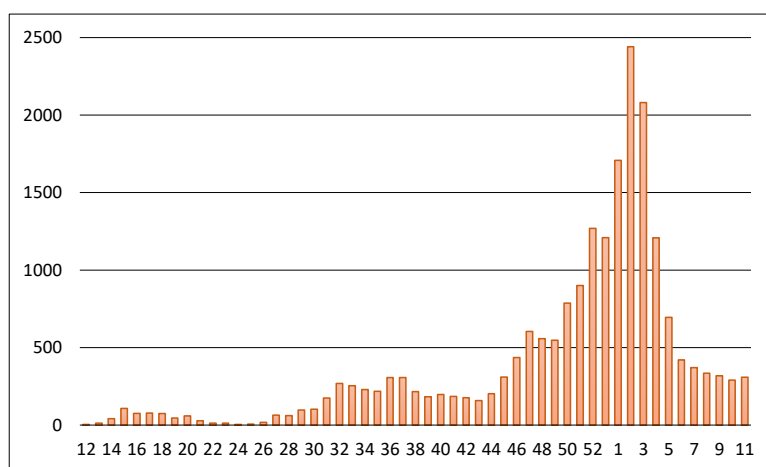
- 1 腸管出血性大腸菌感染症: O91(無症状病原体保有者)1件の報告がありました。感染経路等不明です。
- 2 E型肝炎: 1件の報告がありました。感染経路等不明です。
- 3 A型肝炎: 1件の報告がありました。ワクチン接種歴不明、感染経路等不明です。
- 4 レジオネラ症: 肺炎型3件の報告がありました。いずれも感染経路等不明です。
- 5 カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症: 4件の報告がありました。いずれも感染経路等不明です。
- 6 劇症型溶血性レンサ球菌感染症: A群1件、B群1件の報告がありました。いずれも感染経路等不明です。
- 7 梅毒: 無症状病原体保有者9件、早期顕症梅毒Ⅰ期5件、早期顕症梅毒Ⅱ期3件の報告がありました。男性13件、女性4件で、推定感染経路は、性的接触14件(異性間11件、同性間3件)、不明3件でした。
- 8 播種性クリプトコックス症: 免疫不全によるものと推定される80歳代の報告が1件ありました。
- 9 風しん: 20歳代の検査診断例の報告が1件(ワクチン接種歴不明)ありました。感染経路感染地域等不明です。

◇ 新型コロナウイルス感染症

第8週～第11週に横浜市から報道発表の
ありました症例は1,251件でした。

新型コロナウイルス感染症報告数
(報道発表ベース)

[件]



[週]

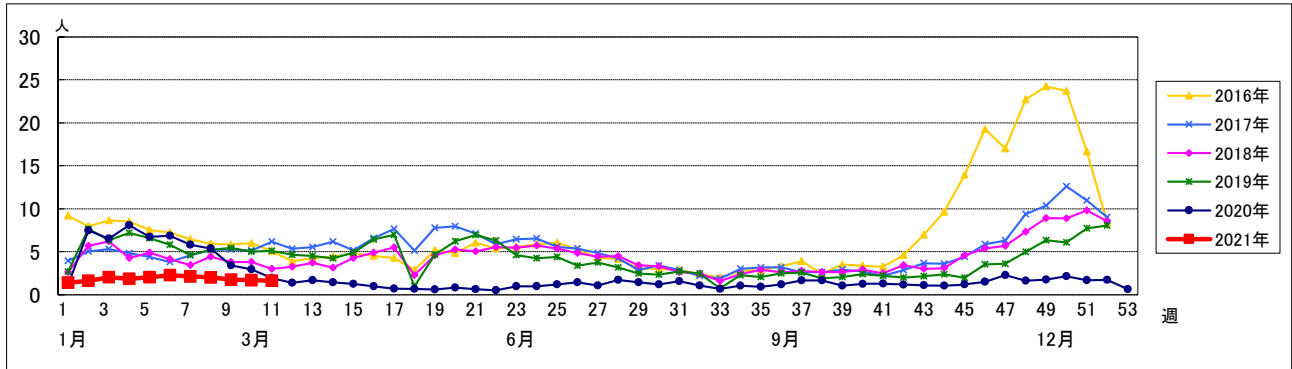
横浜市内の新型コロナウイルスに
感染した患者の発生状況

<https://www.city.yokohama.lg.jp/kurashi/kenko-iryo/yobosesshu/kansensho/coronavirus/kanja.html>

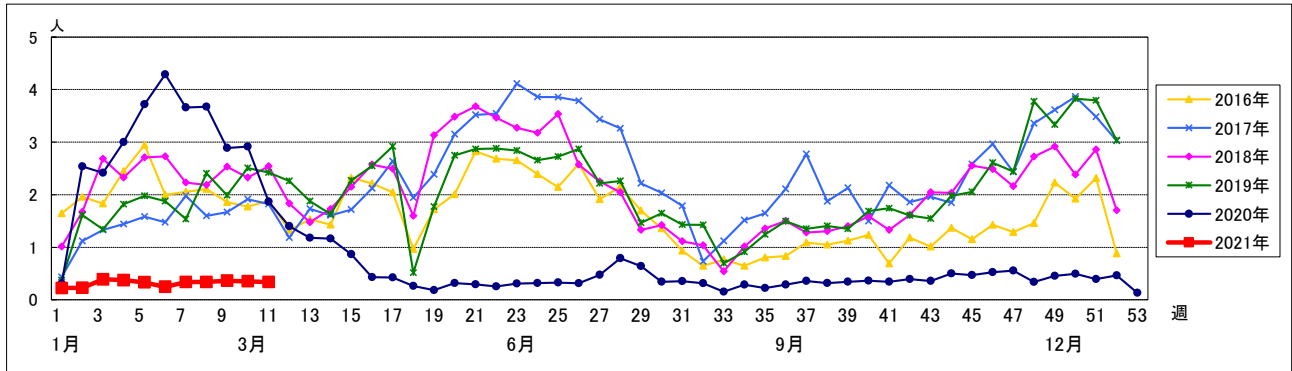
◇ 定点把握の対象:

報告週対応表	
第8週	2月22日～2月28日
第9週	3月1日～3月7日
第10週	3月8日～3月14日
第11週	3月15日～3月21日

1 感染性胃腸炎: 例年より低めの報告数で推移しています。第11週は1.61です。



2 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎: 例年より低めの報告数で推移しています。第11週は0.34です。



3 性感染症(2月)

性器クラミジア感染症	男性:27件	女性:33件	性器ヘルペスウイルス感染症	男性:1件	女性:10件
尖圭コンジローマ	男性:6件	女性:0件	淋菌感染症	男性:12件	女性:2件

4 基幹定点週報

	第8週	第9週	第10週	第11週
細菌性髄膜炎	0.00	0.00	0.00	0.00
無菌性髄膜炎	0.00	0.00	0.00	0.00
マイコプラズマ肺炎	0.00	0.00	0.00	0.00
クラミジア肺炎(オウム病を除く)	0.00	0.00	0.00	0.00
感染性胃腸炎(ロタウイルスに限る)	0.00	0.00	0.33	0.00

5 基幹定点月報(2月)

メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	6件	ペニシリン耐性肺炎球菌感染症	3件
薬剤耐性緑膿菌感染症	0件	-	-

【 感染症・疫学情報課 】

◇ 病原体定点からの情報

市内の病原体定点は、小児科定点:8か所、インフルエンザ(内科)定点:4か所、眼科定点:1か所、基幹(病院)定点:4か所の計17か所を設定しています。

検体採取は、小児科定点とインフルエンザ定点では定期的に行っており、小児科定点は8か所を2グループに分けて毎週1グループで実施しています。

眼科と基幹定点では、検体採取は対象疾患の患者から検体を採取できたときにのみ行っています。

〈ウイルス検査〉

2月22日から3月21日までに病原体定点から搬入された検体は、小児科定点27件、内科定点2件、基幹定点3件、定点外医療機関からは1件でした。

アデノウイルス5型分離1株及びアデノウイルス5型遺伝子1件、ライノウイルス遺伝子2件が検出されています。

表 感染症発生動向調査におけるウイルス検査結果3月期(2021年第8週～第11週)

分離・検出ウイルス	主な臨床症状	上気道炎
アデノウイルス5型		1 1
ライノウイルス		- 2
合計		1 3

上段:ウイルス分離数 下段:遺伝子検出数

【 微生物検査研究課 ウイルス担当 】

〈細菌検査〉

3月期(2021年第8週～第11週)の「菌株同定」依頼は、基幹定点からカルバペネム耐性腸内細菌科細菌3件、劇症型溶血性レンサ球菌1件、サルモネラ属菌1件、レジオネラ属菌1件、非定点からカルバペネム耐性腸内細菌科細菌3件、侵襲性肺炎球菌1件の検査依頼がありました。

保健所からは、腸管出血性大腸菌2件の依頼がありました。

「分離同定」に関しては、保健所からレジオネラ属菌2件の検査依頼がありました。小児科定点からは検査依頼がありませんでした。

表 感染症発生動向調査における病原体調査(2021年第8週～第11週)

菌株同定		項目	検体数	血清型等
医療機関	基幹定点	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌	3	<i>Enterobacter cloacae</i> complex (1)、 <i>Klebsiella aerogenes</i> (1)、 <i>Klebsiella pneumoniae</i> (1)
		劇症型溶血性レンサ球菌	1	A群溶血性レンサ球菌 T11型 (1)
		サルモネラ属菌	1	<i>Salmonella</i> Schwarzengrund (1)
	非定点	レジオネラ属菌	1	<i>Legionella pneumophila</i> SG5 (1)
		カルバペネム耐性腸内細菌科細菌	3	<i>Klebsiella aerogenes</i> (2)、 <i>Escherichia hermannii</i> (1)
	保健所	侵襲性肺炎球菌	1	<i>Streptococcus pneumoniae</i> 35型 (1)
		腸管出血性大腸菌	2	腸管出血性大腸菌O128 : H2 VT1 VT2 (1)、 腸管出血性大腸菌Out : H- VT1 VT2 (1)
分離同定	材料	項目	検体数	同定、血清型等
保健所	喀痰	レジオネラ属菌	2	<i>Legionella pneumophila</i> 不検出 (2)

【 微生物検査研究課 細菌担当 】